



図書館だより

令和 7 年 11 月号
宇都宮市立清原中学校

東京 2025 デフリンピックが開催されます！

11/15（土）～11/26（水）日本で初めてデフリンピックが開催されます。デフリンピックとはデフ+オリンピックのこと。デフ（Deaf）は英語で、耳が聞こえないという意味で、デフリンピックは「聞こえない・聞こえにくい人のためのオリンピック」です。第1回大会は1924年にフランスのパリで開催され、今大会は100周年の記念すべき大会です。世界各国から集まった選手が陸上や水泳などの21競技を行います。ルールはほぼオリンピックと同じですが、「音」がわからなくても「目」でわかるような様々な工夫があります。ぜひ、その工夫に注目しながらデフスポーツを応援しましょう。



「東京 2025 デフリンピック」公式サイトより



今月の特集

想像してみよう！音のない世界



「とどけ！ボール つながれ！ ぼくらの言葉」

村上晃一/著 あかね書房 78 △

ラグビーの強豪校で選手として活躍してきた大塚貴之さんには、生まれつきほとんど耳が聞こえない聴覚障がいがあります。しかし、ラグビーを通して、コミュニケーションの大切さなど多くのことを学びました。デフラグビーのモットーは「ラグビーを通しての平等」です。大塚さんは選手として活躍しながら、この思いを伝える活動をしています。残念ながら、デフラグビーは今回のデフリンピックの競技には入っていませんが、来年には日本でデフラグビーの世界大会が開催されます。



「みることば さわれることば 手話えほん（全3巻）」

スギヤマカナヨ/作 吉岡昌子/手話監修 あすなろ書房 37 ス

みんなで楽しめる手話の絵本です。「あいいうえお」「ともだち」「オノマトペ」の3巻あります。雨がザーザー降っているのかぱらぱら降っているのか、降り方で手話にも違いがあるそうです。かわいいイラストで手話が楽しく覚えられます。



「オリオンは静かに^{うた}詠う」 村崎なぎこ/著 小学館 913 △

宇都宮のろう学校に通う高校一年生の咲季は、偶然競技かるたを体験し、その世界に魅了されます。そして自分でも競技に挑戦することになりました。しかし耳が聞こえないため、読手が読む句の手話通訳が必要です。百人一首のまち宇都宮で繰り広げられる熱き戦いです。百人一首の句は、どんな手話で表すのか見てみたいですね。

～かわいい絵本の世界～ 11月中頃まで

3年生が家庭科で幼児向けの絵本を作成しています。参考のため、絵本の展示をしています。小さいころ読んだなつかしい絵本がいっぱい！1, 2年生もぜひ手に取ってみてください。

（宇都宮市立図書館で借りている本は貸し出しできません。）



後期図書委員会活動予定

来月の読書週間に向けて図書委員が準備をしてくれています。その他にも市立図書館の巡回図書や学級文庫の管理などの活動を行います。クラスで図書委員会からの呼びかけがありましたら、ご協力をお願いいたします。

カウンター当番

毎日お昼休みに、本の貸出や返却、本の整理を行います。返却日を守りましょう！



イベント係

「本の福袋」12/15（月）～19（金）

図書委員のおすすめの本で福袋を作ります。おみくじを引いて書いてある番号の袋を借りてもらいます。



掲示係

本のPOPを作ったり、情報などの掲示物を作ります。

放送係

図書館クイズ「図書委員会からの挑戦状！」の放送を予定しています。



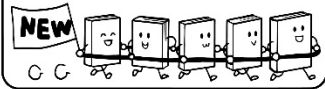
清原中学校 読書週間！ 12/8（月）～12/19（金）

テーマ 「いろいろなジャンルの本に挑戦しよう！」

くわしくは来月の図書館だよりでお知らせします。お楽しみに！



新しい本が入りました！



「みんなで遊ぼう！心理ゲーム」

マーク・矢崎治信/監修

あかね書房

14 マ



「勝海舟」

国松俊英/著

十々夜/絵

文研出版 28 カ



「中原中也の

ことばと人生」

中原豊/監修

ポプラ社 28 ナ



「正しく疑う」

池上彰/監修

Gakken

36 イ



「防災の超図鑑」

荒木健太郎/著

KADOKAWA

369 ア



「10歳からの

科学の常識 100」

池上彰/著

小学館 40 イ



「はなと毎日パンダの

中国パンダ旅」はな/文

高氏貴博/写真

白水社 489 ハ



「バドミントン入門」

青木孝徳/著 ベースボ

ール・マガジン社

78 ア

